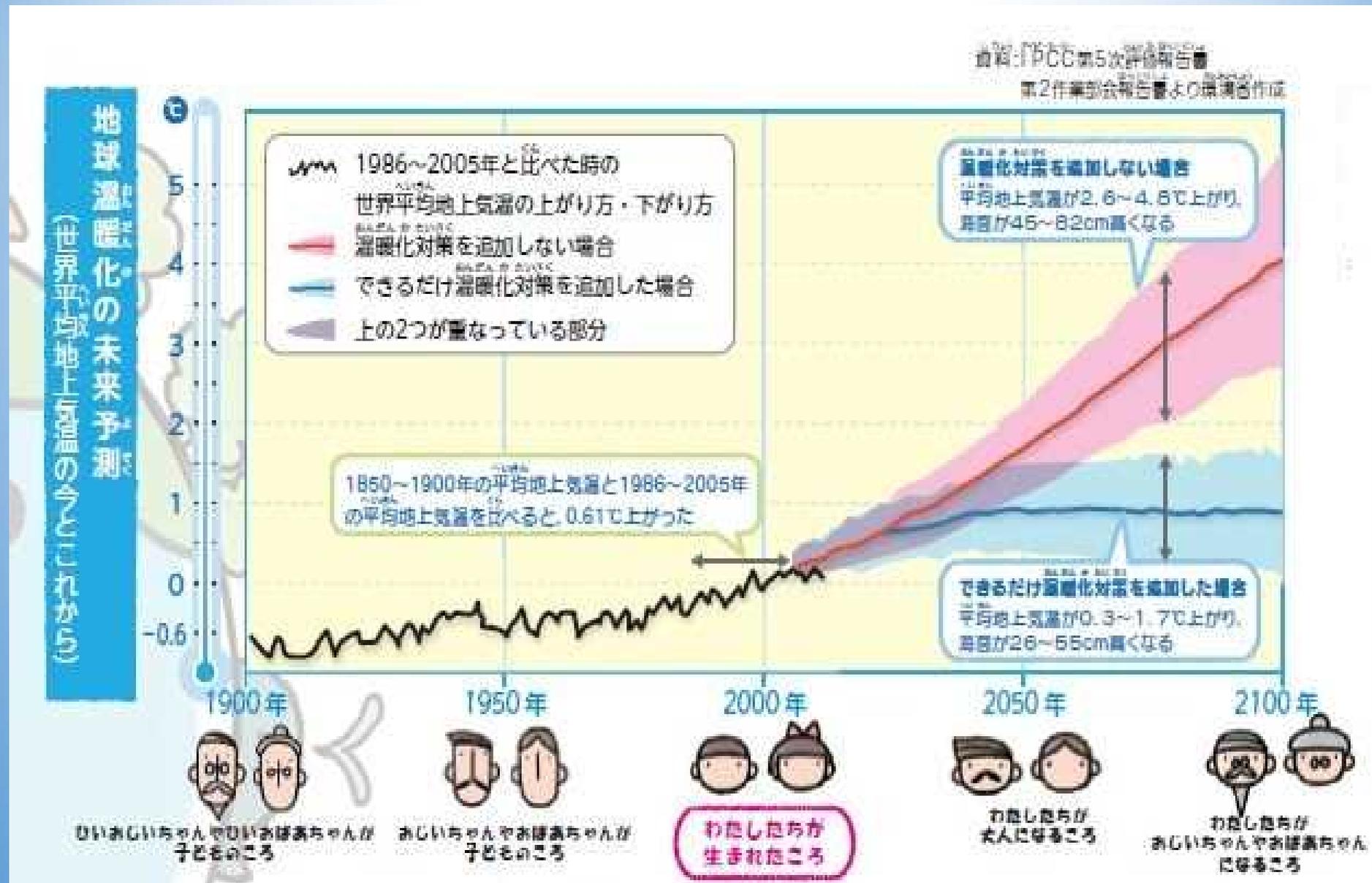


2 ESDの背景(なぜ今、ESDなのか①)

<1>



2 ESDの背景(なぜ今、ESDなのか①)

<2>



地球規模での
環境の変化、
深刻な問題



教え込みの教育を続けても、解決はできない

- ▷ 自分の問題としてとらえる
 - ▷ 多様な観点から見る・考える
 - ▷ 身近なところから取り組む
 - ▷ 様々な人と力を合わせる
- ⇒ 価値観・行動の変容

⇒ 子どもたちに、これらの能力・態度を身につけさせること
⇒ ESDとESDによる子供達の学びを多くの人たちに伝え、
変容を促すこと



ESDを通じた地球規模の問題の解決

環境・貧困・人権・平和・開発・・・

2 ESDの背景(なぜ今、ESDなのか②)

<4>

I) 韓国、アメリカ、英国、スウェーデン、ドイツ、フランス、**日本**の7か国の13~29才の男女1,000人を対象とした意識調査(2014年『子ども・若者白書』)

Q 自分の参加で社会現象が少しでも変えられると思うか?

A 変えられるかもしれない⇒日本は30.2% **最下位**

Q 自分の将来に明るい希望を持っているか?

A 希望がある・どちらかといえば希望がある

⇒日本は61.6% **最下位**

その他・・・

「自分自身に満足している」との回答⇒**最下位**

「自分には長所がある」との回答⇒**最下位**

<日本の若者のこのような姿>

- 自分に自信が持てない
- 行動力に欠ける
- 将来について悲観的
- 対人関係に苦手意識
- 傷つくことを恐れ自己表現しない
- 体験の欠如
- 社会や家庭における対話の不在
- 感性・感覚、イメージ力の劣化

仲間とともに
学ぶ喜び

自己の潜在能力を
表出する
快感

静かなる心の崩壊

『持続可能性の教育』(教育出版)より

Ⅱ) 「米国の総雇用者の仕事のうち、47%が10~20年後には機械によって代わられる」

(オックスフォード大学マイケル・オズボーン准教授)

「AIの急激な発達により、現在日常で行われている仕事のほとんどをロボットが行うというもので、近い将来、10人中9人は今とは違う仕事をしているだろう」

(元Google CEO ラリー・ページ氏)

<2020年「なくなる仕事」> *機械や外国(人)に取って代わられる
電車の運転士・車掌 レジ係 通訳 速記・ワープロ入力 プログラマー
新聞配達員 郵便配達員 レンタルビデオ ガソリンスタンド 高速道路の
料金徴収 卸業者 小規模農家・兼業農家 大手電力会社 自然エネルギー
関連 参議院議員 専業主婦 日本人の取締役 中間管理職 受付・案内業
務 一般事務・秘書 オペレーター・コールセンター 訪問型営業 金型職
人 倉庫作業員 工場労働者 コピー・FAX・プリンター関連 証券・不動
産ブローカー ハッジファンドマネージャー 証券アナリスト・FP 生保レ
ディ **教員** 交番の警察官 (『現代ビジネス』より)

子どもたちには、どんな「将来」が待っているのか？

- 1 厳しい就職、AIとの共存、今とは違う仕事
「やり方」を覚えれば仕事を続けられる時代ではなくなる
- 2 グローバルな労働市場
自分のとなりには外国人の同僚がいる（違う生活・価値観）
- 3 多文化共生
- 4 気候変動、不安定な世界、格差の拡大

VUCA（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性）の時代
⇒先が見通しにくい時代に

将来の世代のことも考えつつ現在の世代の欲求
を満足させるような開発が続けられない
⇒持続不可能な時代に

「困難な世界の課題を自らの問題としてとらえ、さまざまな人々と力を合わせて解決し、より良い未来を切り拓こうと行動するたくましい子ども」
を育てたい



<生きる力>

- 思考力、判断力、表現力
- 豊かな人間性
- 健康や体力



持続可能な
社会づくり
の担い手

地球規模の問題の解決

『学習指導要領』にも「持続可能な社会づくりの観点」が盛り込まれている

『小学校学習指導要領（平成27年3月改正）』 「総則」

道徳教育を進めるに当たっては、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、平和で民主的な国家及び社会の形成者として、公共の精神を尊び、社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人の育成に資することとなるよう特に留意しなければならない。

現行『中学校学習指導要領』

社会 地理的分野

(略) 持続可能な社会の構築のためには地域における環境保全の取組が大切であることなどについて考える。

社会 公民的分野

持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめさせる。

理科 第1分野及び第2分野

自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、持続可能な社会を作ることが重要であることを認識すること。

中央教育審議会等の諮問や答申にも盛り込まれている

初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について（諮問）
～中央教育審議会（平成26年11月20日）～

…新しい時代に必要となる資質・能力の育成に関連して、…ユネスコが提唱する**持続可能な開発のための教育（ESD）**などの取組が実施されています。これらの取組に共通しているのは、…**自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に探究し、学びの成果等を表現し、さらに実践に生かしていけるようにすることが重要であるという視点**です。

これからの次代に求められる資質・能力と、それを培う教育、
教師の在り方について
～教育再生実行会議第7次提言（平成27年5月14日）～

- (1) アクティブ・ラーニングの推進、世界に伍する教育体制の確立
 - 持続可能な社会の実現が課題となっておることを踏まえ、国、地方公共団体、学校は、体験型・課題解決型の学習を通じて、環境、貧困などの世界規模の課題を自らの課題として捉え、地域活動など身近なところから取り組み、その解決に向けて考え、他者とも力を合わせて行動できる人材を育成するための教育（**ESD、持続可能な開発のための教育**）を推進する。

学習指導要領改訂の視点

新しい時代に必要となる資質・能力の育成

- ①「何を知っているか、何ができるか(個別の知識・技能)」
各教科等に関する個別の知識や技能など。身体的技能や芸術表現のための技能等も含む。
- ②「知っていること・できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力等)」
主体的・協働的に問題を発見し解決していくために必要な思考力・判断力・表現力等。
- ③「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(人間性や学びに向かう力等)」
①や②の力が働く方向性を決定付ける情意や態度等に関わるもの。以下のようなものが含まれる。
 - ・主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する能力など、いわゆる「メタ認知」に関するもの。
 - ・多様性を尊重する態度と互いの良さを生かして協働する力、持続可能な社会作りに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなど、人間性に関するもの。

知っているだけでなく、どう
使い社会と関わるか
(知識の量から活用へ)

指導内容を相互の関係でとらえ、
教科横断的な視点で組織的に
配列

何ができるようになるか

育成すべき資質・能力を育む観点からの
学習評価の充実

教科横断的なカリキュラム
⇒ESDカレンダー(後出)

学びの量から質へ

主体的・協働的に学ぶ

何を学ぶか

育成すべき資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

- ◆ グローバル社会において不可欠な英語の能力の強化(小学校高学年での教科化等)や、我が国の伝統的な文化に関する教育の充実
- ◆ 国家・社会の責任ある形成者として、また、自立した人間として生きる力の育成に向けた高等学校教育の改善(地理歴史科における「地理総合」「歴史総合」、公民科における「公共」の設置等、新たな共通必修科目の設置や科目構成の見直しなど抜本的な検討を行う。) 等

どのように学ぶか

アクティブ・ラーニングの観点からの 不断の授業改善

- ◆ 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか
- ◆ 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか
- ◆ 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか

学習指導要領等の構造化のイメージ (仮案・調整中)

下記のような構造をイメージしながら、各教科等の意義や教科・科目等の構成、各教科・科目等の内容を見直す必要があるのではないか。その際、教える側の視点だけではなく学習する側の視点にも立ち、学習プロセスの在り方や身に付ける資質・能力等について整理していく必要があるのではないかと。

指導内容を相互の関係でとらえ、教科横断的な視点で組織的に配列

人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質の育成を期す

教科横断的・総合的に育成すべきさまざまな資質・能力

教科等間の往還(カリキュラム・マネジメント)

ESDカレンダー(後出)

| | 個別の知識や技能 (何を知っているか、 何ができるか) | 思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか) | 学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか) |
|--------|-----------------------------------|---|--|
| 学習 | 各教科に固有の知識や 個別のスキル | 各教科の本質に根ざした問題解決の 能力、学び方やものの考え方 | 各教科を通じて育まれる情意、 態度等 |
| 総合的な学習 | (各学校で設定) | 横断的・総合的な問題解決の能力 | 実社会における横断的・総合的な 問題解決に取り組む態度 |
| 特別活動 | 集団の運営に関する方法や 基本的な生活習慣等 | よりよい集団の生活や 自己の生活習慣等を形成していく能力 | 自己の役割や責任を果たす態度等 |
| 道徳教育 | 道徳的価値 | 道徳的判断力 | 道徳的心情、 道徳的实践意欲と態度 |

アクティブ・ラーニングの視点に立った
深い学び、対話的な学び、主体的な学びの実現

問題解決的な学習過程 (ESDの手法も一つ)

○幼児教育においては、主体的な活動である遊びを